

スウェーデンの介護政策

大和総研 経済調査部
研究員 石橋未来

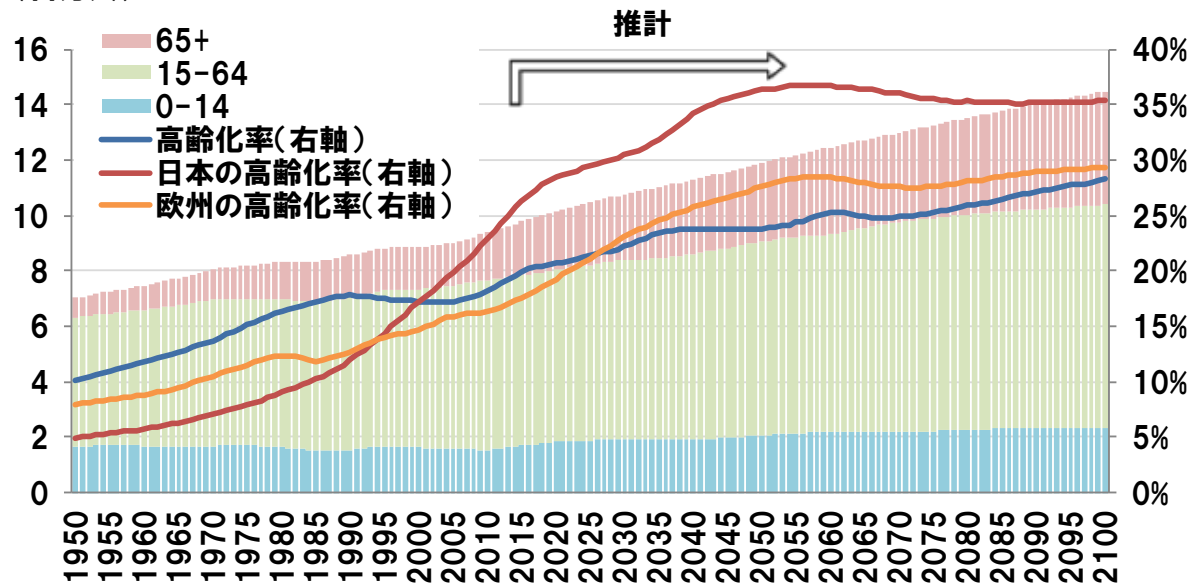
本日のポイント

- ①スウェーデンの概要
- ②医療・介護の現状
- ③スウェーデンの高齢者住宅
- ④スウェーデンの課題

①スウェーデンの概要

スウェーデンの人口推計

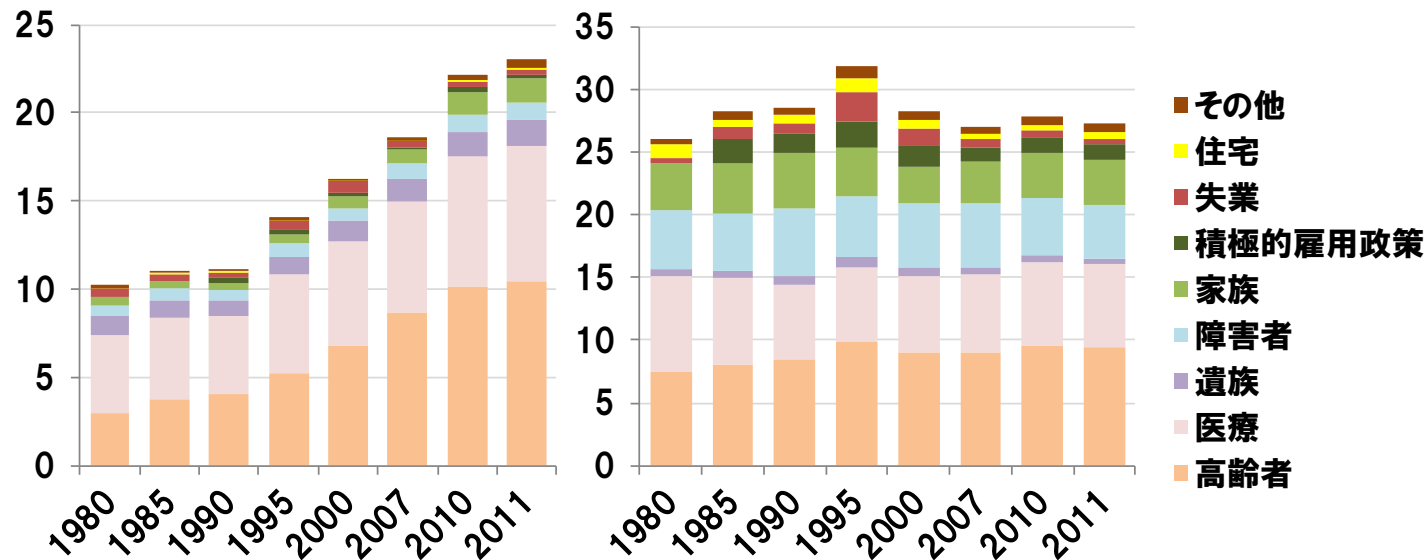
(百万人)



(出所) World Population Prospects: The 2015 Revisionより大和総研作成

①スウェーデンの概要

社会保障費の対GDP比(%)と内訳 (左:日本、右:スウェーデン)

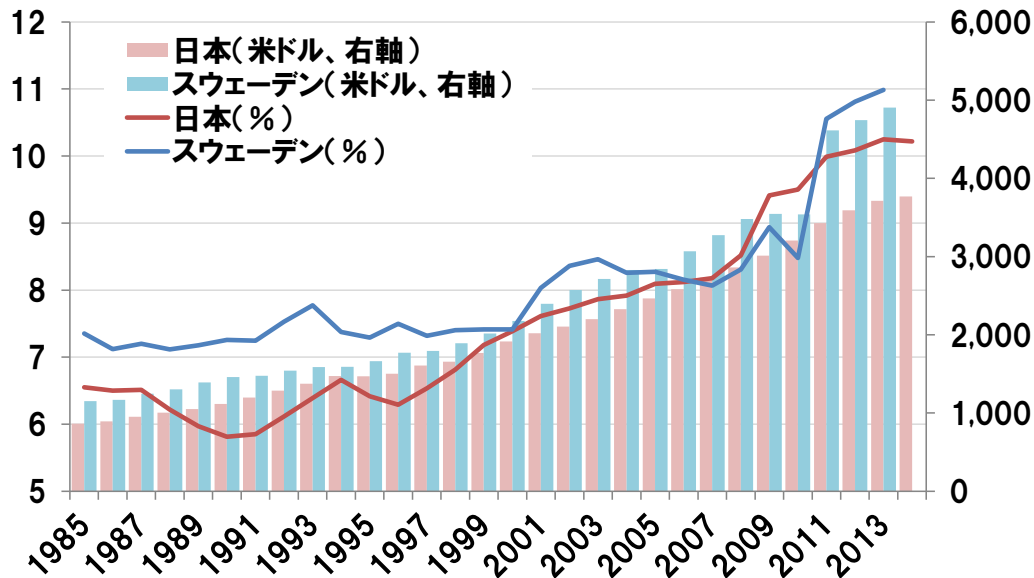


(出所) OECD. Statより大和総研作成

高福祉国スウェーデンでは、社会保障費の配分が特定の年齢層に過度に偏っている傾向は見られない。

②医療・介護の現状

医療費対GDP比(%)と1人あたり医療費(米ドル)



(出所) OECD Health Statistics 2015より大和総研作成

2013年の医療費対GDP比は11.0% で、日本の10.2%より若干大きい。

②医療・介護の現状

1992年 高齢者福祉制度の改革(エーデル改革)

→ランスタング(保健医療)

→コムーン(社会福祉)

①社会的入院の削減

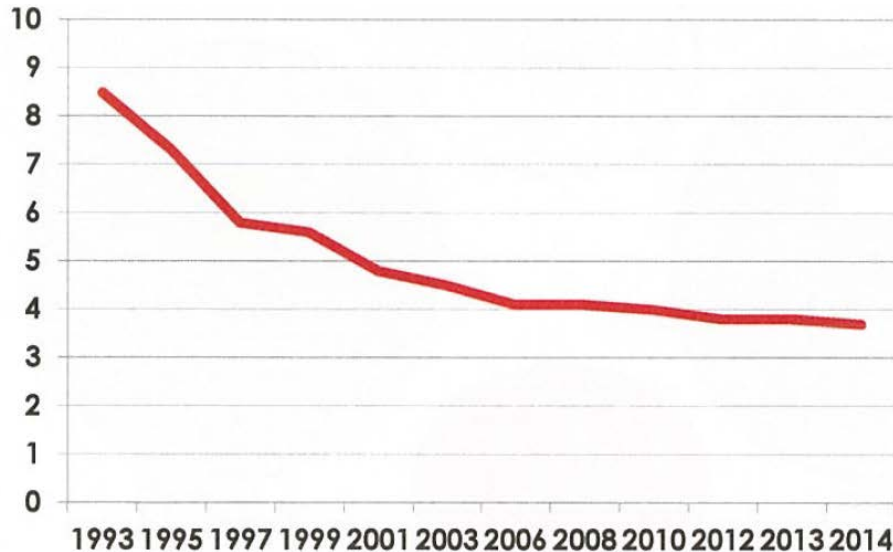
→高齢者向け医療・介護はコムーンの責任

②各種の高齢者施設を「特別な住居」へ統合(住居化)

→在宅主義の強化

②医療・介護の現状

80歳以上高齢者に対する病床数(床/100人あたり)



(出所)スウェーデン社会庁講演資料より抜粋

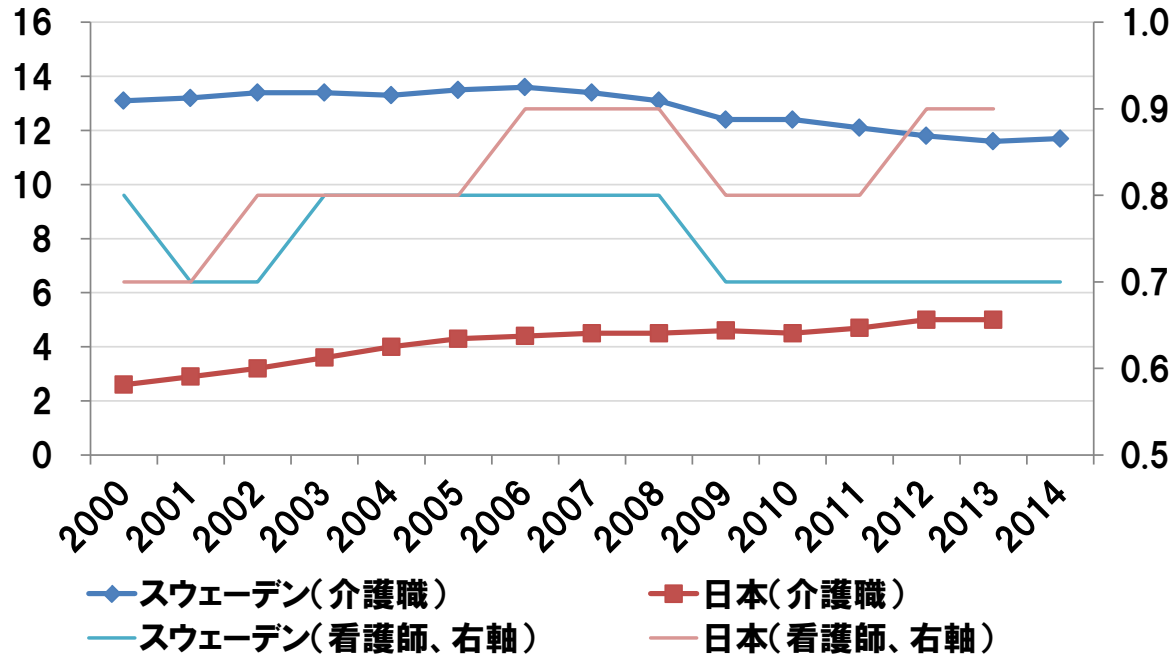
1992年のエーデル改革により、高齢者向けの病床数が大幅に削減された。

③スウェーデンの高齢者住宅

- ①一般住宅 →最もシェアが大きい
- ②シニア住宅 →55歳以上の自立した人(バリアフリー化)
- ③安心住宅 →不安を感じる70歳以上の高齢者
- ④特別な住居 →24時間ケアが必要な高齢者

③スウェーデンの高齢者住宅

65歳以上人口に対する看護師と介護職の割合(%)



(出所) OECD Health Statistics 2015より大和総研作成

③スウェーデンの高齢者住宅

職種別月給(スウェーデンクローナ)

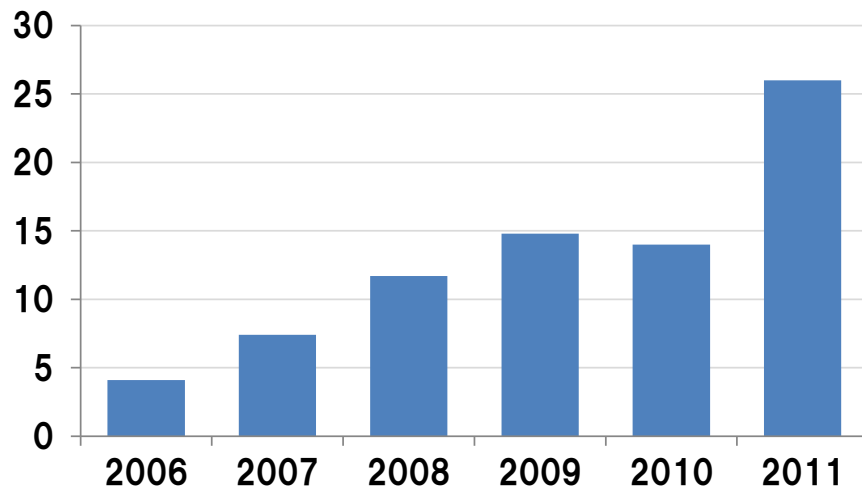
	2008	2009	2010	2011	2012	2013
公的セクター	25,200	26,200	26,800	27,300	28,000	28,900
医師	52,700	54,200	55,000	56,100	56,900	57,500
医療責任看護師	30,300	32,700	34,000	34,800	35,400	39,700
地区看護師	27,400	28,300	29,100	29,800	30,600	31,600
アンダーナースなど	25,900	26,700	27,100	27,700	28,200	29,000
ヘルパー	21,200	22,000	22,400	22,800	23,200	24,100
初等教育専門家	24,900	25,800	26,000	26,300	26,500	28,000
就学前教育の準専門家	22,700	23,600	23,900	24,400	24,600	26,000

(出所)Statistics Swedenウェブサイトより大和総研作成

- アンダーナースの月給は初等教育の専門家や公的セクター全体の平均より若干高い水準に設定されている。
- 勤続年数は比較的長く、離職率も低い。

③スウェーデンの高齢者住宅

特別な住居への入居から50日以内に高齢者が死亡した割合(%)

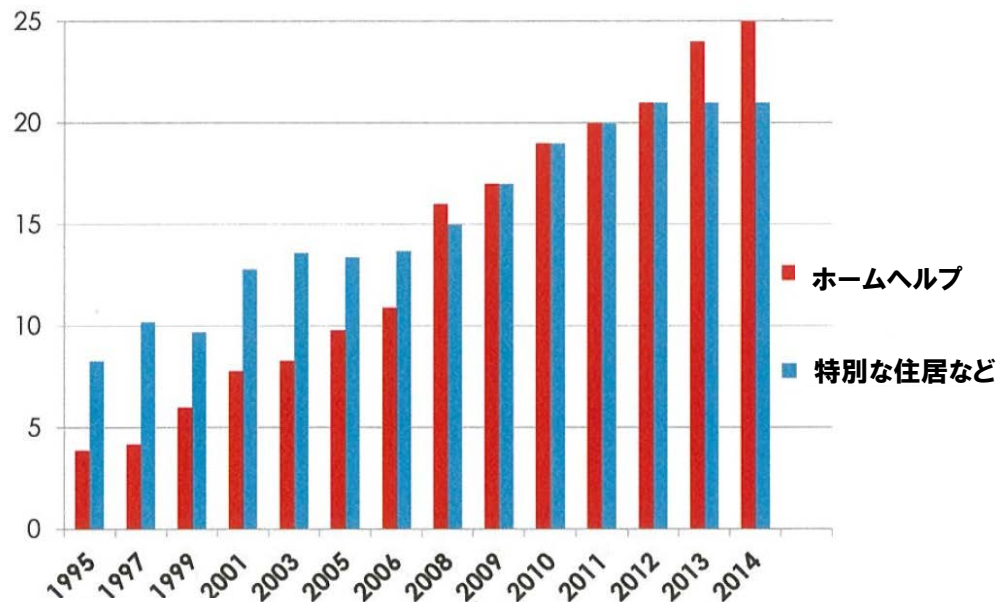


(出所)スウェーデン社会庁講演資料より抜粋

- 在宅ケアの負担が重くなっている。
- 在宅主義が高齢者の権利ではなく、義務になりつつあるとの懸念。

③スウェーデンの高齢者住宅

ホームヘルプと特別な住居の民営化率(%)



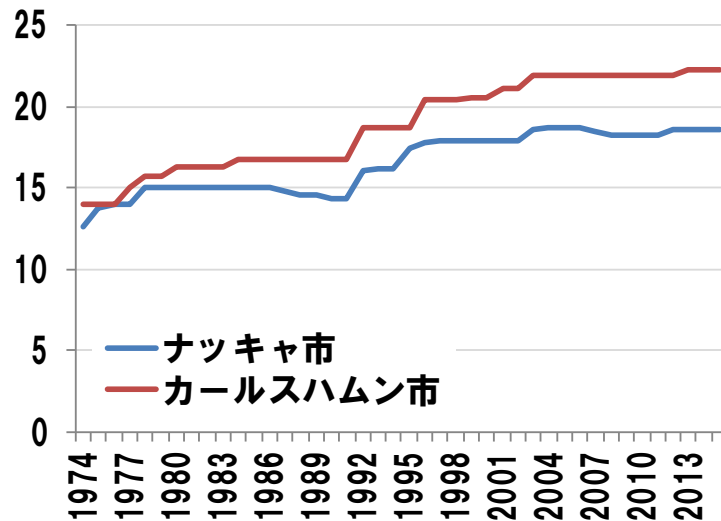
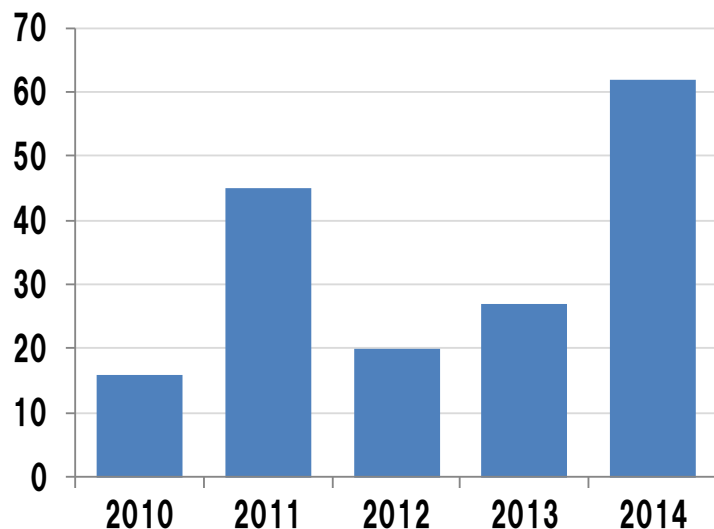
(出所)スウェーデン社会庁講演資料より抜粋

2014年にはホームヘルプの約25%、特別な住居の運営の約21%が民営化。

④スウェーデンの課題

収支が赤字のコミューン数(全体は290コミューン)

コミューン税率の推移(%)



(出所) Statistics Swedenウェブサイトより大和総研作成

歳出が膨らむ各コミューンの収支バランスは崩れ始め、赤字となるコミューンが増加傾向にある。

④スウェーデンの課題

- 国民負担率は65.7%(2012年)と高く、
地方所得税の引き上げ余地はあまりない
 - 公的サービスの範囲が縮小される可能性
 - 家族による介護がさらに増加もしくは、
 - 伝統的な高福祉・高負担国の再建を目指し、
引き続き移民を寛容的に受け入れ続けていく
- ロベーン首相(2014年～)が率いる新政権の動向に注目